

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT 2012-2013



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 宮崎 良一 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 東山 直史
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第1013回

2012年8月21日(火) 晴 第7回

～ 会員増強及び拡大月間 ～

斉唱	それこそロータリー
出席	会員 59名 (出席率算入人数 52名) 出席 42名 出席率 80.77% 前々回補填率 98.04% (7月31日分)
ゲスト	愛知県警察本部生活安全部少年課 課長 石飛 誠さん 課長補佐 片山 和久さん
ビジター	名古屋瑞穂 RC 吉木 洋二さん

会長あいさつ

会長 宮崎 良一さん

皆さま、こんばんは。本日は、県警本部の石飛課長と片山課長補佐に来ていただき、感謝状をいただきました。また、ビジターとして瑞穂RCの吉木さんに来ていただきました。私がJCに入っていた時の大先輩で、お世話になった方です。久しぶりにお目にかかれてうれしく思っています。



新世代奉仕委員会が少年柔道剣道大会で青少年の健全育成に関する奉仕活動をしました。さらに、少年問題については、近時の重要問題として薬物の問題・いじめ問題なども現実的な問題として我々が強く関わっていかねばならないと考えています。

また本日は、会員増強をテーマにした卓話を準備しています。増強委員長の木下さんを中心に会員増強にどのように取り組むかを考えていきたいと思えます。

ゲストあいさつ

愛知県警察本部生活安全部少年課

課長 石飛 誠さん

皆さま、こんばんは。先ほどご紹介いただきました、愛知県警本部少年課長の石飛と申します。本日は名南RC様の例会にお招きいただき、ありがとうございます。

本日の表彰の趣旨について、簡単に説明させていただきます。8月2日に開催されました愛知県警察少年柔道剣道大会に、民間のボランティアとして参

加していただき、入賞を果たした柔道4チーム(28名)および剣道8チーム(56名)の合計12チーム(84名)に対しまして、大会記念品の文具セットを贈呈していただきました。少年の健全育成に貢献していただきまして、ありがとうございます。

ここで簡単に少年非行の情勢についてご説明させていただきます。少年非行等で検挙・補導された人員は、最近減少傾向にあります。しかしながら、一度非行を犯した少年が再び非行を犯す再非行者率が高まってきています。再非行者が強盗や侵入など悪質な非行を犯すことが多いため、警察では非行を犯した少年の立ち直りを支援する活動を進めています。

また、非行を犯していない健全な少年に対してもこのような柔道剣道大会を開催しています。最近話題になっている脱法ハーブなどの薬物を乱用しない取り組みも進めています。皆さまには、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 武藤正行さんが8月15日から8月21日までハワイへ海外出張です。また、入谷直行さんが8月23日から9月1日までフランスへ海外出張です。
2. 次回8月28日は、松山閣「松山」名古屋ミッドランドスクエア店で18:30からゆったり例会を開催します。

ニコボックス

◆ 愛知県警少年課課長石飛様、課長補佐片山様、名南RC例会へおいで戴き有難うございます。

朝比美和子さん

◆ 本日は卓話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。木下 福郎さん

◆ 木下さん、卓話ご苦労さまです。水野 俊男さん

◆ 本日、兄がメイクアップにきています。よろしくお願ひします。吉木 邦男さん

◆ 榊原さんと熊野古道伊勢路を5日間歩いて来ました。暑かったです。疲れました。木村 猛さん

◆ 残暑お見舞い申し上げます。坂本 晃さん

犬飼りさ枝さん 猪村 美之さん 江松 央統さん

大橋さなえさん 大平 明子さん 川瀬 悟さん

川辺 清次さん 久米 伸治さん 榊原 和美さん

坂田 信子さん 白藤 憲雄さん 新原 尚さん

杉山 隆秀さん 鈴木 清詞さん 長尾 浅吉さん
中西 芳子さん 中村 勝さん 野々村憲吾さん
林 隆二さん 細井 俊男さん 牧野 好弘さん
三浦 和人さん 三浦 隆さん 三島多恵子さん
宮崎 良一さん 森田敏二三さん 山本 誠一さん

本日合計 36,000 円 累計 182,000 円

委員会報告

新世代奉仕委員会 委員長 朝比美和子さん

8月2日、愛知県警主催の少年柔道剣道大会に参加、協力を致しました。本日、少年課の石飛課長と片山課長補佐に来ていただきました。



アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

委員会担当卓話

会員増強・職業分類委員会 委員長 木下 福郎さん

会員増強・職業分類委員の木下です。

8月は、会員増強の月間です。7月20日に地区の会員増強委員会が開かれました。2011・2012年のRI会長カルヤン・パネルギーさんは、会員減少が問題であると言われました。ただ、全世界ではここ5年間は一定であります。資料ではイギリス・アイルランドが12.27%減少で日本が10.93%減少、カナダ、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドの順に減ってきています。逆に増加したのは、中部・東部ヨーロッパ、インド、韓国、アフリカ南部です。

パネルギー会長は、全世界で40代の会員が11%弱



しかいないことを問題だとしています。なぜ減ってきたのかという説明はなかったので、私が個人的に考えたことをお話しします。

これは1990年～2012年までの日本のRC会員数推移グラフです。1996年11月末をピークに右肩下がりになっています。まず、人口の減少が原因かと思いましたが、こちらが日本の人口推移グラフですが、1996年から人口は減っておらず、逆に増えています。RCの会員の減少と人口推移に影響はないと思いました。次に、景気の悪化が原因かと思いましたが、これは1990年～2012年の日本のGDPの推移グラフです。1996年から若干悪くなっていますが、2008年9月15日のリーマンショックで下がり、2011年3月11日の東日本大震災で下がり、7月～10月のタイの洪水で更に下がっています。必ずしも日本の経済が1996年から右肩下がりになってきたわけではなく、こちらに関係ないと思いました。

次に、企業数が減ったことが原因かと思いましたが、これは1989年～2009年までの上場企業の数ですが、中小企業も連動していると考え、あまり減っていません。1996年から右肩下がりにはなっていないので、こちらに関係ないと思いました。

次に、RCは40歳～60歳を会員のターゲットにしています。これは2010年の人口ピラミッドです。これを見ると、60代で第一次ベビーブームがあり、40代前に第二次ベビーブームがきています。現在の60代は団塊の世代で、1996年の頃40～45歳くらいで、この時にRCは大半を取り込んでしまったと思います。その後は、2010年の人口ピラミッドを見ると、40代と50代が減少しています。RCがターゲットにしている世代が減ってきているため、会員が減少しているのではと思いました。ただ、現在は第二次ベビーブームの世代が40前後ですから、これから会員が増えるのではと思っています。会員減少の理由の一つとして、日本の人口ピラミッドが影響しているのではないかと思います。

私が考える理由はあと3つあります。ハーバード大学のマイケル・サンデル教授が「それをお金で買いますか」という本を出しました。そこには、我々の市場経済で価格は市場で決まると書かれています。1番ほしい人が1番高い値段で買うことによって、全体の効用が最大化されるということです。色々なものが市場経済に入ってきて、例えば肝臓や代理出産や養子などをお金でやり取りしてもいいのかと書いています。我々がお金で買えないものの例として、ノーベル賞や野球の最優秀選手賞、友人などがあります。私は、RCとはお金で買えない友人を得られる場所ではないかと思っています。ただ、最近の傾向では、スマートホンやインターネットの普及で情報が若い人達の世に氾濫していて、非常にバーチャルな人間関係や交流が成り立つ状況になっています。人間は一人では生きられないのですが、バーチャルな交流により一人でも生きられると錯覚をしているのではないかと思います。今の若い人達は、生身の人間の友達を求めるといった考えが少なくなってきたのではないかと思います。

次に、私はすべての原因はRIにあるのではないかと考えています。RIが変わったから混乱が起こっているのではないかと考えています。なぜかと言いますと、量的な問題、お金の問題を非常に強調される

からです。奉仕の質ではなく、奉仕の量やそれにかかる時間や効率性を求められている状況になってきているからです。私たちは本来NPOだったはずが、あたかも世界的な営利企業のようになり、会員に違和感をもたらしたのではないかと想像しています。

次に、会員増強の要求が強くなってきていて、地区からも非常に強い要求が出ています。各RCも非常に必死になって会員増強をしています。その弊害として、お金さえ払えば誰でも入れるような風潮になってきています。我々の各業界を代表している経営者としてのプライドやステータスが全く捨て去られてしまったような感じを受けます。これから会員増強をどのようにしていくかは、第二次ベビーブームで徐々に増えていくと思っています。我々は独自の運営の仕方をして、RIと地区から離れてもっと素朴で原点に戻ったクラブに徹することが必要だと思います。例会や卓話など色々なものに磨きをかけて、楽しいクラブを作るべきではないかと思えます。我々は奉仕の質を追究するのであって、奉仕している実感をもっと得られるような活動をするべきだと思います。

会員一人一人のことを大切に、会員の気持ちを大事にするクラブにしていかなければならないと思います。また、第二次ベビーブームはきますが、このままだとRCに目を向けてくれないかもしれないので、若い人達に生身の友人がいかに必要か大切かを我々RCが教えるべきではないかと考えています。病気や会社の経営が難しくなった方以外で退会する方は、話す人がいないというのが理由だと思います。たくさんの方がいる中で、毎週同じ席で知っている方ばかりと話をしてしまいがちです。月に一度くらいは、指定席にすることで今まで話したことのない方と交流を深めるべきではないかと思えます。指定席の趣旨を理解していただき、是非ともこの名南RCの中で誰とでも話ができる環境をつくっていただけると思います。

我々が本当に楽しいクラブをつくるのが第一だと思いますので、クラブ全体で頑張っていけたらと思っています。

第 1015 回例会 (9月4日) のご案内

委員会担当卓話

地区新世代奉仕委員長 秋田 敬治さん